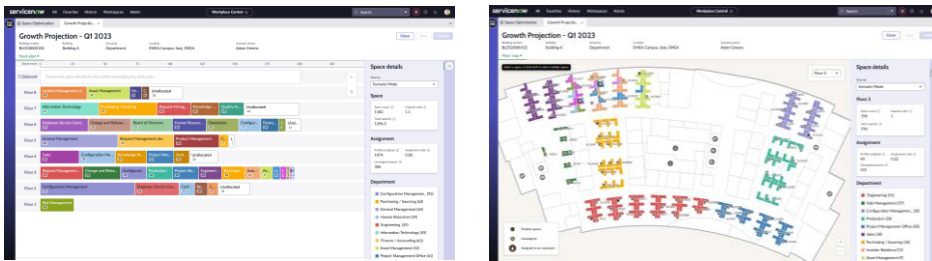


ServiceNow® Workplace Space Management

計画、インサイト、フィードバックによるスペースの使用の最適化

柔軟な働き方ができるこの時代、従業員は特定の目的で職場を訪れています。イベントへの参加、会議、同僚とのコラボレーション、いずれの目的であっても、柔軟な職場環境に対するニーズは大きなものです。職場と不動産を管理するチームには、既存スペースを最適に利用するために、有効に計画して管理するという仕事があります。このような働き方の変化は、最新の従業員エクスペリエンスを提供して業務効率を上げるような、デジタルソリューションに対するニーズを高めています。

ServiceNow® Workplace Service Delivery (WSD) のビルトインワークフローにより、企業はスペースを**計画、管理し、スペースの利用状況に関するインサイトを収集できます**。WSD に含まれる最新のテクノロジーは、施設管理者に必要なデータを提供し、従業員にとって最適な職場環境を計画して構築し、現在および将来にわたってどのようなスペースが必要か（または必要ないか）を評価します。



Workplace Central のスタック計画やフロアマップで、複数の建物にわたってスペースの構成を可視化し、現在の割り当てを確認できます。

スタック計画、マップ、利用状況のインサイトを使用し、スペースに関する戦略的な意思決定を行う

働く場所や働き方に対する期待が進化する中、ほとんどの企業は利用料を支払っているスペースを有効に活用できていません。

WSD のレポートとダッシュボードを使用すれば、職場管理者はスペースの利用状況に関する以下のような主要な測定基準を迅速に確認できます。

- ドラフトモードから廃止までのスペースのライフサイクル
- 占有率 (予約中の合計ユーザーを含む)
- デスクおよび会議室のフロア別利用状況ヒートマップ
- 部門別またはコストセンター別の利用状況
- 場所ごとの月別予約状況
- 予約のピーク時間
- ある場所の今週の日別予約状況
- ある場所の今日の予約状況
- チェックイン状態ごとの予約数 (チェックアウト済み、未チェックアウト、無断キャンセル)

その他多数

職場の経営幹部は主要な利用状況のインサイトを活用し、戦略的な意思決定だけでなく、職場のスペースや不動産のニーズ全般について将来的な戦略も推進できるようになります。職場チームは、組織内のあらゆる場所でスペースを最大限に活用できます。スペースの割り当てを管理することも、主要な最適化のインサイトに基づいてスペースを構成することもできます。

Workplace Service Delivery は業界標準の BOMA 分類をサポートしています。

Workplace Service Delivery を活用し、ServiceNow® プラットフォームの価値を最大限に引き出す

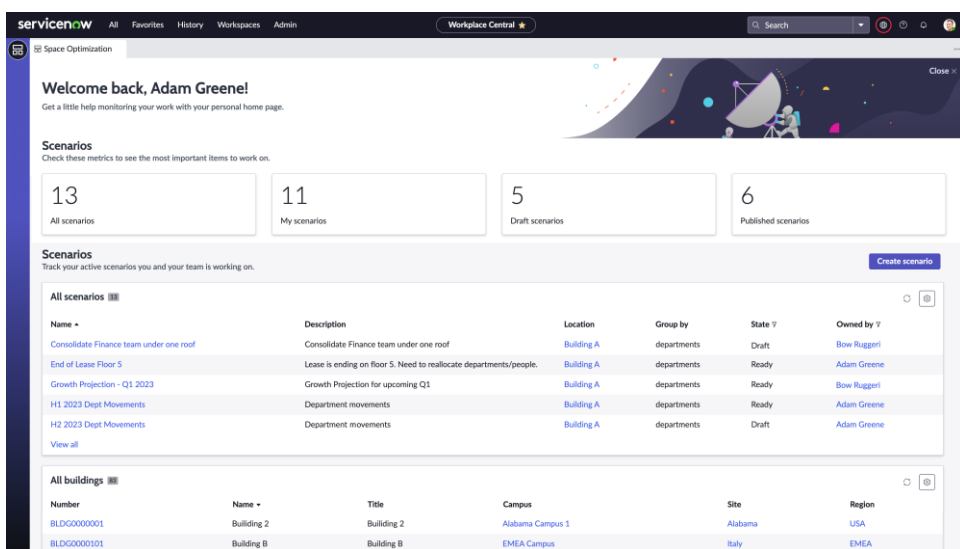
主なメリット

- 職場のキャパシティと時系列の利用状況の傾向を把握し、スペースとシナリオの計画を実現
- カスタマイズ可能なダッシュボードで、資産に関わるな意思決定に役立つインサイトを簡単に整理
- 職場の支出と運用効率に関する重要なリアルタイムデータにアクセス
- 職場のニーズに合わせて、職場のチームが既存スペースを再構成可能
- ドラフトから廃止までのスペースのライフサイクルを管理し、完全に記録
- 視覚的なシナリオプランニング機能で、職場の構成を設計して簡単に提案可能
- スペースのフルフィルメント要求を自動化し、最適な座席オプションを提供
- 部門やコストセンターに関連する近隣に、スペースや従業員をアサイン

WSD では、収集されたインサイトに対してスペースプランナーが行動を起こすこともできます。一元化された職場プランナーツールである Workplace Central では、スタック計画やフロアマップで、建物内でスタックされたスペースの状況を可視化できます。このツールでは、建物再構成の What-if シナリオを作成し、可能なスペースソリューションを特定して分析し、展開に向けて関連するステークホルダーとスペースプランを共有し、選択したシナリオを展開することができます。

スペースプランナーエクスペリエンスを強化および自動化

スペースプランナーと職場チームは多くの場合、さまざまなプロジェクトや従業員にとって最適な座席を簡単に特定して対応するためのテクノロジーが不足しています。Workplace Central を使用すると、簡単にスペースと従業員を近隣に割り当て、部門、コストセンター、グループに関連付けることができます。職場システムで、カスタマイズされた要件に基づく最適な座席オプションの特定と提供を実現することで、スペースのフルフィルメント要求も自動化されます。



従業員に次いで、企業の不動産は、平均的な企業で 2 番目に大きな総費用であり、単一かつ最大の固定費とされています。近年、職場のニーズとともにハイブリッドの傾向が進化し続ける中、企業は精力的にスペースを変化させています。従業員を職場に呼び戻すことに注力する中、CFO のオフィスではコントロールできることや変更できることの可視性に重点を置いており、企業が業務の流れを中断させることなく、効率を高めて職場のエクスペリエンスを最適化するには、適切なインサイトとデジタルワークフローを備えることが不可欠です。

適切なリソースを導入すれば、企業は本当に必要とするスペースや、従業員にとって最も効果的にスペースを最適化する方法に合わせて、目的別に職場を提供できるようになります。

Workplace Service Delivery (WSD)

従業員にはデジタルエクスペリエンスを伴ったハイブリッドのワークスペースを、そして施設/地所チームには近代的な管理様式を提供できます。

- Health and Safety:** 従業員の健康衛生とワークスペースの安全性をサポートします。
- Workplace Reservation Management:** セルフサービス方式でワンクリックで予約をとったり、サービスや要求を追加したりできます。
- Workplace Indoor Mapping:** マップの作成と管理、サービスや利用可能なスペースの閲覧、ワークスペースのナビゲーションを実行できます。
- Workplace Visitor Management:** ゲストやオフサイト従業員の登録、日ごとの訪問者登録の管理、また連絡を容易に実行できます。
- Workplace Case Management:** 問い合わせ・要求・ケース転送におけるやり取りと履行を企業全体で標準化できます。
- Workplace Space Management:** ワークスペースの構築計画、コストセンターの割り当て、キャパシティのコントロール、利用状況の追跡を実行できます。
- Workplace Move Management:** 個人、多数の従業員、また資産スペースの再配置を自動化することで、ワークスペースの移動要求を容易に管理することが可能になります。
- Workplace Maintenance Management:** 一元化されたワークスペースからメンテナンス計画を作成・管理・自動化できます。
- Workplace Lease Administration:** ワークスペースのさまざまなリース契約、および契約に含まれるスペース、ワークスペース資産、サービスを追跡できます。